

◆◆特集◆◆

★平成24年度道路交通管理統計の概要★

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

道路交通管理統計は、毎年、全国の道路管理者に調査のご協力をいただいて作成し、道路の管理体制等を的確に把握するとともに、道路の実態に即した望ましい道路交通管理のあり方を検討するための基礎資料としている。

本稿においては、平成24年度調査の結果について検証し、今後の課題を探る。

◆◆訴訟事例紹介◆◆

★歩道に設置されていたコンクリート床板の

段差につまづいて負傷した事故について、道路管理瑕疵が争われた事例★

<平成26年2月12日 小浜簡易裁判所判決>

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

【事案の概要】

歩道の側溝に設置されていたコンクリート製床板に段差があったことから、これにつまづいてよろけ、転倒を避けようとして右足首を捻挫したことについて、道路管理者に対し、国家賠償法2条1項に基づく損害賠償請求をした事案。

【判決要旨（請求棄却）】

本件歩道は、病院に隣接し、日常的に高齢者が多数歩行する歩道であることから、かかる段差により歩行者がつまづいて受傷する可能性は十分に考えられること、道路管理者は、本件段差を承知していたものの、安全対策を行っていなかった事実が認められることから、本件歩道は、通常有すべき安全性を欠き、他人に危害を及ぼす危険性のある状態にあったもので、その設置・管理には瑕疵があったと認められる。

◆◆道路管理事務等担当職員による論稿紹介（第3回）◆◆

★判例から見た管理瑕疵にかかる「責任」の整理★

(東北地方整備局 道路部 路政課 田中完秀（前：本省道路局総務課総務係長）)

国土交通省道路局総務課道路政策企画室では、道路管理事務に興味のある方等より広く論稿を募集しておりますが、皆様の実務の参考のため、このコーナーにおいて掲載することとしました。

今回は第3回の掲載として、東北地方整備局道路部路政課田中完秀氏（前：本省道路局総務課総務係長）により「判例から見た管理瑕疵にかかる「責任」の整理」を掲載致します。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★北陸地方整備局における老朽化対策に関する自治体支援の取組み★ (北陸地方整備局 道路部 道路保全企画官)

道路の老朽化対策が喫緊の課題とされている中、管理延長や道路施設の大部分を占める自治体では技術系職員の不足等を理由に、技術力向上を目的とする支援が必要な状況となっています。本稿では、老朽化対策に関する技術力向上を目的に、北陸地方整備局で取り組んでいる自治体向け支援について紹介します。

.....

★栃木県における道路アンダーパスの冠水対策について★ (栃木県 県土整備部 道路保全課)

平成26年6月のゲリラ豪雨により冠水した道路アンダーパス内に車両が進入し水没する事故が発生しました。栃木県で今までに実施してきた冠水対策や、この事故を受けて新たに検討している冠水対策について紹介します。

.....

★安心・安全・快適な自転車走行環境の整備について★ (宇都宮市 建設部 道路保全課)

宇都宮市は、道路環境や状況により様々な手法で「自転車走行環境」の整備を推進しています。本稿では、安心・安全・快適な自転車走行環境の整備についてご紹介します。

◆◆編集後記◆◆

1年の流れゆく早さに毎年驚いています。そして、この1年の予定や行動を見守ってくれた手帳が、1年間の役目を終えようとしています。

手帳とは、心覚えに雑事や必要事項を記入するための記録用の小さな本のことをいいますが、カレンダー付きのものが主流となり、主に予定の管理、行動の記録といった用途に使われています。また、生徒手帳のように身分証明書を兼ねるものもあり、私が初めに手にした手帳は、確か生徒手帳だったと記憶しています。特に書き込む用件はなかったのですが、大人として認められたような誇らしい気持ちになった思い出があります。

年の瀬とあって、手帳やカレンダーのフェアが催されていますが、1月から始まる手帳のほか、主に学生用として4月から始まるものもあり、手帳の種類の豊富さに驚きました。また、週間予定表は、日曜から始まるものと思いついていましたが、月曜からはじまるものの需要も多いようで、商品には「日曜始まり」「月曜始まり」という文字が書かれているものも多く見受けられました。1週間の始まりが何曜日であるかという議論については、宗教的な背景もあると聞きますが、週休二日制が始まってから、土・日が休みの人の予定が書きこみやすいよう、月曜始まりが好まれるようになったようです。一方で、カレンダーの多くは日曜始まりであることに気づきました。私自身は、手帳もカレンダーも、断然日曜始まり派であると思っていましたが、手帳を見ると月曜始まりであり、自分の記憶力の乏しさが悲しくなりました。現在の手帳を利用し始めて3年、手帳とカレンダーの曜日がずれていても、日程調整をする際、意外と間違えないものだと不思議に思います。

予定のみを記入する人だけではなく、日記を兼ねて利用する人、食事の内容を記録する人など、内容には個性が表れます。物語などでは、手帳から金銭の受け渡し記録（悪いお金）や、犯人への手がかりなどが見つかるといった、手帳のなかには秘密がいっぱいある印象を受けたりもします。周りの人の手帳にも秘密が書かれているのでしょうかと想像すると、少し胸の鼓動が早まります。パソコンやスマートフォンで予定の管理や行動の記録をされる人も多くなったように感じますが、慣れないことをすると失敗しそうなので、デビューは先送りです。

新しい手帳を手にするると、心機一転いろいろ書く気になりますが、中盤から、書き方と内容が雑になってくるのが私の手帳の特徴なので、予定以外のものも書けるような1年となるよう、日曜日始まりのカレンダー、月曜始まりの手帳、来年こそはよろしくお祈いします。来年の今頃、また1年を振り返る機会がありますが、いろいろあったけれども楽しかったと思える思い出の詰まった手帳であることを目指します。